

今後の研修会

予定

11月

11月16日(水) 14:00~16:00
第6回京都在宅医療塾Ⅱ～実践編～
内 容:人工肛門の管理・皮膚ケア「先生一人のときにつけられますか?」
ところ:京都府医師会館 5階
京都府医療トレーニングセンター

11月19日(土) 14:00~17:00
かかりつけ医認知症対応力向上研修(集合研修)【北部会場(京丹後市)】
内 容:認知症患者さんへの様々な支援について / 認知症の基礎知識
ところ:大宮ふれあい工房 大研修室

11月26日(土) 14:30~17:30
生活機能向上研修 排泄支援 Part【北部会場】
内 容:基礎講義・実技・ワークショップ
ところ:サンプラザ万助 ペルラ(福知山市)

11月26日(土) 18:00~21:00
かかりつけ医認知症対応力向上研修会【宇治久世医師会】
内 容:認知症医療ケアと最近の動向 等
ところ:宇治市生涯学習センター 2階第3ホール

12月

12月4日(日) 13:00~16:00
第3回京都在宅医療塾Ⅰ～探究編～
内 容:認知症のBPSDへの対応
ところ:サンプラザ万助(福知山市)

● 2月以降の研修会

2月

● 2月4日(土) 14:00~17:00
かかりつけ医認知症対応力向上研修会【中京東部医師会・中京西部医師会】

● 2月18日(土) 16:00~19:00
かかりつけ医認知症対応力向上研修会【相楽医師会】
ところ:相楽会館 大ホール

3月

● 3月11日(土) 16:30~19:30
認知症サポート医 フォローアップ研修【南部会場(京都市)】

● 詳細は京都医報又は当センターホームページにてご案内いたします。●

お問い合わせ、ご意見及びご感想は
京都府医師会在宅医療・地域包括ケアサポートセンター
〒604-8585 京都府京都市中京区西ノ京東桐尾町6番地 京都府医師会館3階 tel.075-354-6079 fax.075-354-6074

2017年

1月

1月7日(土) 14:00~17:00
かかりつけ医認知症対応力向上研修会【下京東部医師会・下京西部医師会】
内 容:「本人・家族が聞きたいこと、私たちが伝えたいこと 等」
ところ:和牛登録会館 2階大会議室

1月14日(土) 14:30~16:30
第4回総合診療力向上講座
内 容:~かかりつけ医としての要約能力:プロブレムリストはいくつありますか?~
ところ:本 会 場:京都府医師会館 310会議室
北部会場:サンプラザ万助(福知山市)
南部会場:けいはんなプラザ(相楽郡)

1月28日(土) 14:30~17:30
生活機能向上研修 食支援 Part【南部会場】
内 容:「食べやすい食事環境について」「食べられるお口づくり」
ところ:京都府医師会館 212・213会議室

1月28日(土) 14:00~17:00
かかりつけ医認知症対応力向上研修会【西京医師会】
内 容:認知症初期集中支援チームについて ケアパスシートで事例の振り返り
ところ:ホテル京都エミナース
明治アニバーサリーホール

● 2月19日(日) 10:00~13:00
第4回京都在宅医療塾Ⅰ～探究編～

● 2月25日(土) 14:30~17:30
生活機能向上研修 排泄支援 Part【南部会場】

京都府医師会

在宅医療・地域包括ケアサポートセンター news

Vol.14

2016年11月15日

京都府医師会在宅医療・地域包括ケアサポートセンター
〒604-8585 京都府京都市中京区西ノ京東桐尾町6番地 京都府医師会館3階 tel.075-354-6079 fax.075-354-6074

在宅医療・地域包括ケアサポートセンター news は奇数月15日の発行です。

「食べること」「排泄のこと」の相談支援事業スタートしました!

在宅療養を続ける方の生活の質を向上させるために「食支援」「排泄支援」は非常に重要であることは理解されていても、在宅療養の現場では「どこに相談すればよいのか?」と戸惑うことが多く、入院中でのケアが在宅で継続できないというような現状もあります。

京都府医師会では、関係団体の協力の下、「プレントラスト会議」を開催し、協議を重ねた結果、平成28年4月より京都府医師会在宅医療・地域包括ケアサポートセンターに相談窓口を設置する事となりました。

府民の皆様や、在宅医療に係る方々の「食」「排泄」の現場の悩みを当センターが窓口となる事で、関係団体にお繋ぎし、少しでも府民の皆様在宅療養上の問題解決に役立つことができると考えております。

「食」「排泄」の事で悩んでいる方は是非、当センターの相談窓口をご活用ください。

相談事業の流れイメージ図



プレントラスト会議参画団体

排泄支援	食支援
<ul style="list-style-type: none"> 京都府介護支援専門員会 京都府介護福祉士会 京都府看護協会 京都府作業療法士会 京都社会福祉士会 京都泌尿器科医会 京都府薬剤師会 京都府理学療法士会 NPO快適な排泄をめざす全国ネットの会 はいせつ総合研究所 むつき庵 中京西部医師会 京都府医師会 	<ul style="list-style-type: none"> 京都府栄養士会 京都府介護支援専門員会 京都府看護協会 京都府言語聴覚士会 京都府作業療法士会 京都府歯科医師会 京都府歯科衛生士会 京都府訪問看護ステーション協議会 京都府薬剤師会 京都府理学療法士会 京滋摂食嚥下を考える会 京都府医師会

京都府医師会在宅医療・地域包括ケアサポートセンター
「食べること」「排泄のこと」電話相談窓口 (月~金) 午前10時~午後4時
075-354-6079

生活機能向上研修 食支援 Part [北部会場] 開催しました！

10月1日(土)、生活機能向上研修食支援 Part 北部会場として京都府中丹勤労者福祉会館(福知山市)にて下記のテーマで開催しました。

②宮津武田病院 管理栄養士・辻 真理氏 「嚥下調整食の使い方」



当日は、医師9名、多職種20名の方に参加いただき、それぞれ基礎講義のあと、実際の嚥下評価の方法や、嚥下調整食の試食、車いすの調整の方法等の実習を行いました。実習の内容が実践に即したもので、より理解が深まったと受講者からも好評をえる事ができた研修会となりました。

①京都ルネス病院 言語聴覚士・浦野 尚人氏 「在宅でできる嚥下評価」



③京都山城総合医療センター 作業療法士・田中 俊佑氏 「食べやすい姿勢と座りやすい姿勢」



京滋摂食嚥下を考える会の取組み紹介



講義の最後には、京都府言語聴覚士会・関 道子氏より「京滋摂食嚥下を考える会」の紹介をしていただき、嚥下食プロジェクト「京の和菓子」で開発された水ようかんを受講者の皆様に配布いたしました。

この和菓子は、京都府生菓子協同組合の協力の元、高齢者や病気で嚥む力、飲み込む力が弱くなった人でも食べやすく飲み込みやすい嚥下調整食として作られたものです。

また介護食器プロジェクトとして清水焼団地協同組合と開発された介護食器も展示いたしました。従来の介護食器に比べ、機能はそのままに、デザイン面を意識し「清水焼」・「京漆器」などの技法を取り入れた食器を直接手に取っていただく事でプロジェクトへの一層の理解推進になりました。

●受講者のご意見● (参加者アンケートより抜粋)

- 実臨床の情報だったのでありがたかった。(医師)
- 実技と座学が混ざっていて良かった。色々なジャンルの事が学べてこれからのケアに役立っていけると思った。試食があり凄く参考になった。(看護師)
- 水飲みテストや嚥下評価の方法を教えていただく事ができてよかった。トロミ使用したものや、食事を試食する事で、利

- 用者の気持ちや食事を知る良い機会になりました。姿勢については、機能訓練指導員をしている中で姿勢の大切さを再確認する事ができました。(看護師)
- 実技形式で分かりやすかった。実際現場で指導する方法としても参考になった。(管理栄養士)

第2回 総合診療力向上講座

9月17日(土)、「日常診療で使うクスリと日常診療に潜むリスク①」をテーマに、洛和会丸太町病院 救急・総合診療科 医長・上田 剛士先生にご講演いただきました。

当研修会は京都府医師会館を本会場とし、北部会場：サンプラザ万助(福知山市)・南部会場：けいはんなプラザ(相楽郡)にテレビ会議システムを利用した中継を行っており、リアルタイムでの質疑応答も可能です。京都府北部、南部の先生は是非ご活用ください。

次回以降の開催については本 news 裏面及び京都府医師会当センターホームページをご覧ください。



上田 剛士先生



本会場の様子



中継会場の様子



質疑応答

●受講者のご意見● (参加者アンケートより抜粋)

- 毎日の処方薬を改めて見直す機会になりました。意識して勉強し、減薬しているつもりでしたが、リスクとベネフィットをしっかりと見積もり、診療をしたと思います。周囲の医療者や患者さんの行動を変えるのは論理だけでなく、感情に配慮して、どういう風にアプローチしたらよいか勉強したいです。
- 身近な薬剤について分かりやすく解説していただけてよかつ

- た。データをしっかり示しておられて、とても効率的に学べた。
- 抗菌薬の使い方の適正が非常によく理解できた。どうしても売薬で風邪に効かず長引いてやむなく診療所へ来られた患者さんにどう納得して抗菌剤無しで帰宅してもらうかが医療側の課題と考える。

第2回 京都在宅医療塾 I ～探究編～

10月16日(日)、京都在宅医療塾 I 「フレイル・サルコペニアとリハビリテーション栄養」をテーマに、講師に横浜市立大学附属市民総合医療センター リハビリテーション科診療講師・若林 秀隆先生をお招きし開催いたしました。



若林 秀隆先生



グループワーク「症例検討」の様子



全体化の様子

●受講者のご意見● (参加者アンケートより抜粋)

- グループワークで、皆で議論した内容は、在宅医療・リハビリ栄養学の現場の取り組みが分かり、同時に課題も知った。その課題に対する介入方法の一部を本日の研修会で知った。(医師)
- グループ構成もよくて議論が進んで良かったです。若林先生の講義も分かりやすく楽しく聴講できました。リハビリも栄養もそれぞれ大切な事がよく分かりました。すそ野を更に広げてほしい。(医師)

- グループワークでファシリテーターが入っていた事が大変良かった。症例検討のまとめで色々な場合を想定しながら分析していただけたので非常に参考(実践的)となりました。(看護師)
- 多職種によるグループワークは様々な意見が聞けてとても良かったです。今日学ばせていただいた事を実施し改善出来るよう努めたいです。有り難うございました。これからもこのような研修に参加させていただきたいです!! (管理栄養士)